

I 調査結果の概要

1 生乳生産量と用途別処理量

(1) 生乳生産量

— 生乳生産量は0.5%減少 —

平成17年の生乳生産量は828万5,215tで、前年に比べ0.5%減少した。

これは、都府県において、飼養頭数が減少したこと等の理由により搾乳量が減少したためである。

図1 生乳生産量の推移

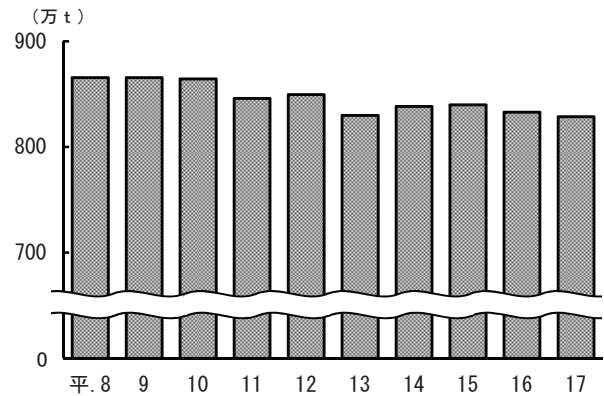
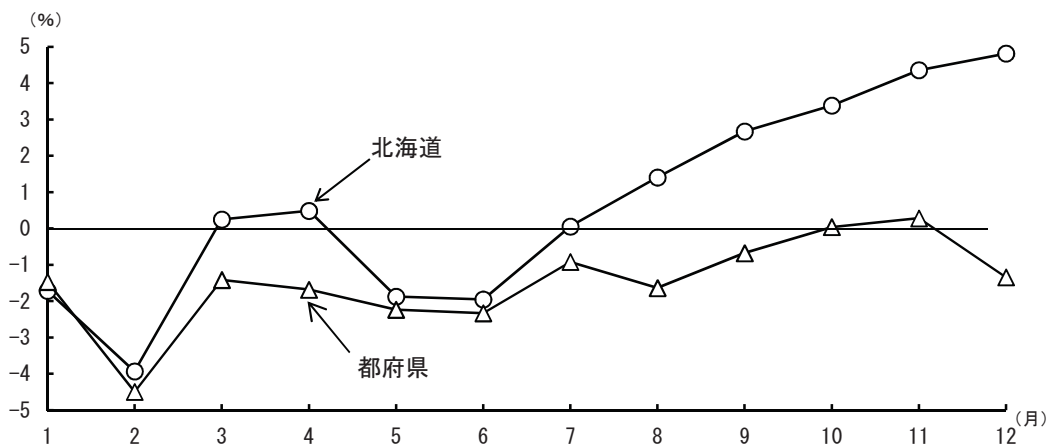


表1 生乳生産量

年次	実数(t)			対前年比(%)		
	生乳生産量	北海道	都府県	生乳生産量	北海道	都府県
平. 16	8 328 951	3 837 062	4 491 889	99.2	99.7	98.7
17	8 285 215	3 861 171	4 424 044	99.5	100.6	98.5

図2 生乳生産量の前年同月に対する増減率(平成17年)



(2) 農業地域別生乳生産量

— 北海道が生乳生産量シェアは46.6% —

農業地域別の生乳生産量についてみると、北海道が386万1,171 t（全国に占める割合46.6%）で最も多く、次いで関東が127万6,834t（同15.4%）、九州が81万3,271t（同9.8%）の順となっており、この3地域で全国の約7割を占めている。

また、農業地域別に5年前（平成12年）と生乳生産量を比べると、北海道では増加しているが、その他の地域では減少している。

図3 農業地域別生乳生産量シェア

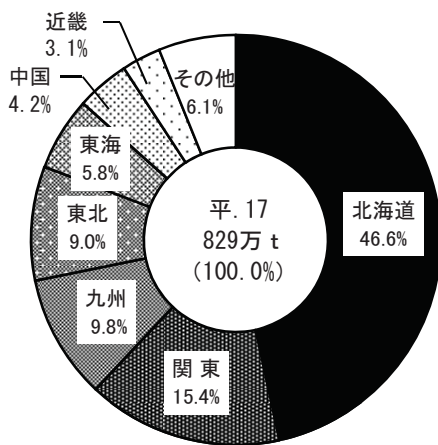
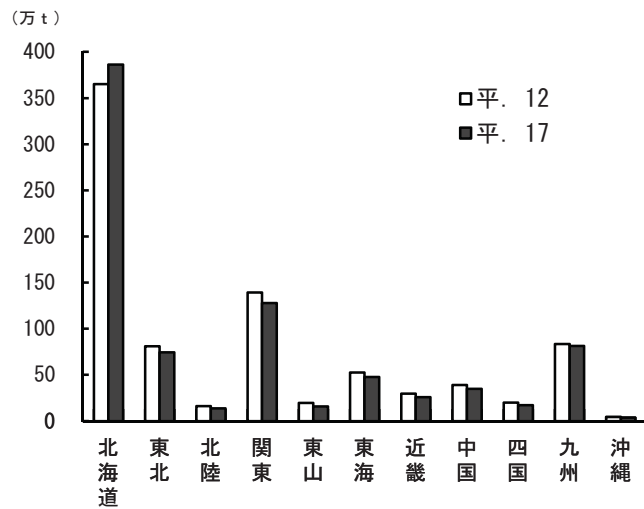


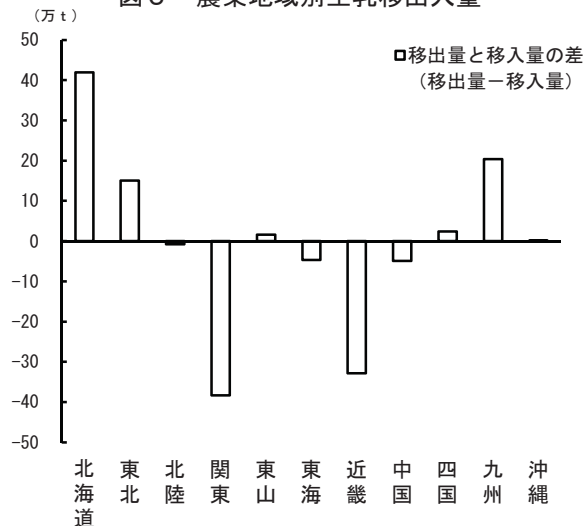
図4 農業地域別生乳生産量の推移



(3) 農業地域別生乳移出入量

生乳移出入量を農業地域別にみると、移入量よりも移出量が多いのは北海道、九州、東北の順に多く、移出量よりも移入量が多いのは関東、近畿、中国の順となっている。

図5 農業地域別生乳移出入量



(4) 用途別処理量

— 牛乳等向け処理量は3.6%減少 —

生乳の用途別処理量をみると、牛乳等向け処理量は477万5,335 tで、前年に比べ、3.6%減少した。

これは、飲用牛乳等の需要の低迷等により、飲用牛乳等の生産量が減少したためである。

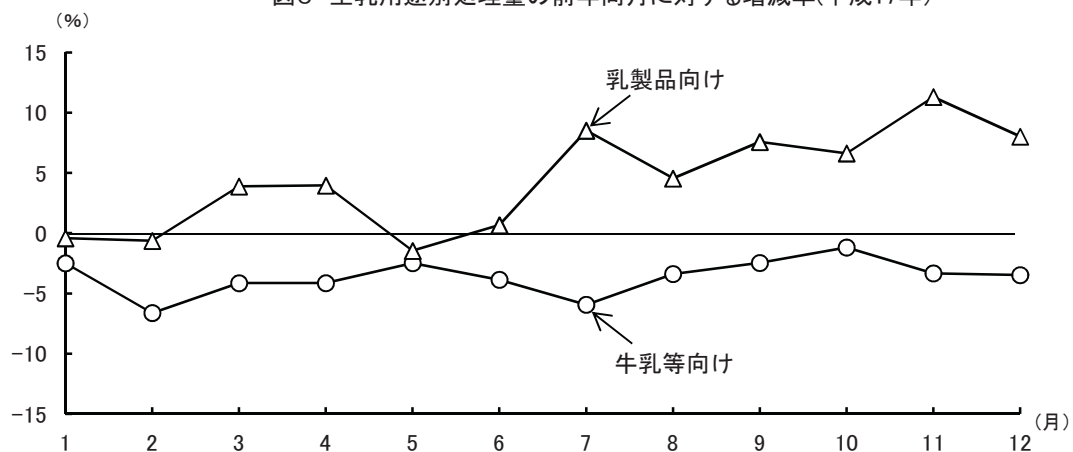
一方、乳製品向け処理量は342万9,456 tで前年に比べ4.2%増加した。

表2 生乳用途別処理量

単位：t

年次	生乳生産量	用途別処理量				
		牛乳等向け	業務用向け		乳製品向け	その他向け
平. 16	8 328 951	4 954 710	296 843	3 292 397	81 844	
17	8 285 215	4 775 335	303 396	3 429 456	80 424	
対前年比 (%)	99.5	96.4	102.2	104.2	98.3	

図6 生乳用途別処理量の前年同月に対する増減率(平成17年)



2 牛乳等生産量

(1) 飲用牛乳等生産量

— 平成17年の牛乳生産量は3.7%減少 —

飲用牛乳等の生産量をみると、牛乳生産量は382万2,690k1、加工乳・成分調整牛乳生産量は46万6,939k1であり、前年に比べ、それぞれ3.7%、3.3%減少した。これは、飲用牛乳等の需要の低迷によるものである。

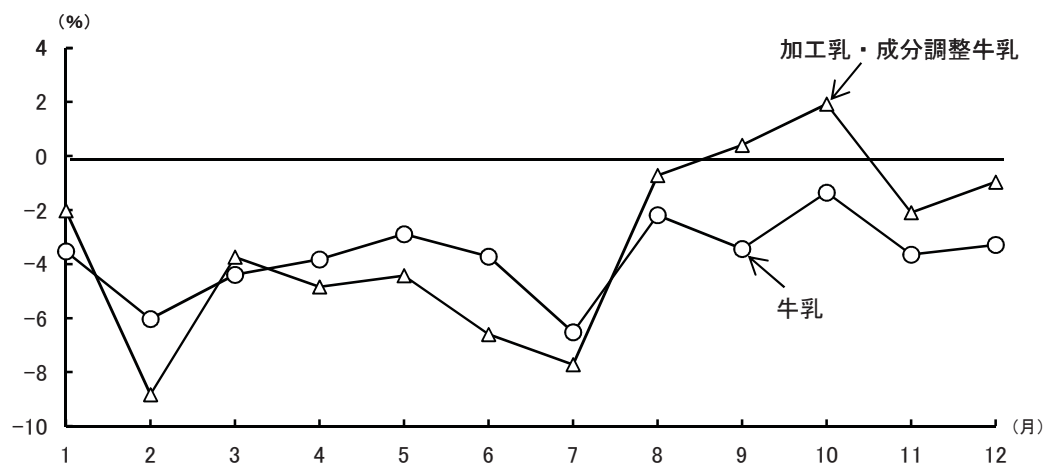
なお、加工乳・成分調整牛乳のうち成分調整牛乳生産量については18万9,113k1であり、前年に比べ、4.2%増加している。

表3 飲用牛乳等生産量

単位：k1

年次	飲用牛乳等					
	計	牛乳	業務用	加工乳・成分調整牛乳	業務用	成分調整牛乳
平.16	4 454 157	3 971 177	283 978	482 980	16 118	181 545
17	4 289 629	3 822 690	288 485	466 939	17 780	189 113
対前年比 (%)	96.3	96.3	101.6	96.7	110.3	104.2

図7 飲用牛乳等生産量の前年同月に対する増減率(平成17年)

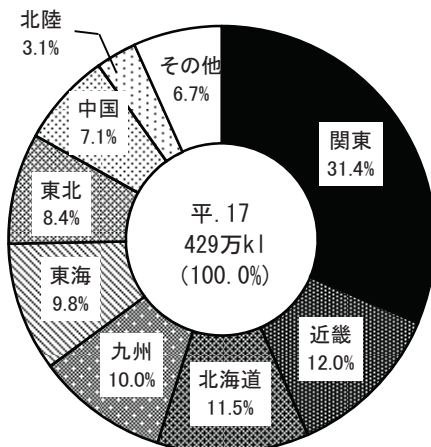


(2) 農業地域別飲用牛乳等生産量

— 関東の飲用牛乳等生産量シェアは31.4% —

農業地域別の飲用牛乳等生産量についてみると、関東が134万7,291kℓ（全国に占める割合31.4%）で最も多く、次いで近畿が51万6,091kℓ（同12.0%）、北海道が49万1,591kℓ（同11.5%）の順となっている。

図8 農業地域別飲用牛乳等生産量シェア



(3) 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量

— 乳飲料生産量は1.2%増加 —

乳飲料の生産量は120万3,215kℓ、はっ酵乳生産量は79万9,936kℓで、前年に比べそれぞれ1.2%、2.9%増加した。

一方、乳酸菌飲料は17万3,629kℓで、前年に比べ0.2%減少した。

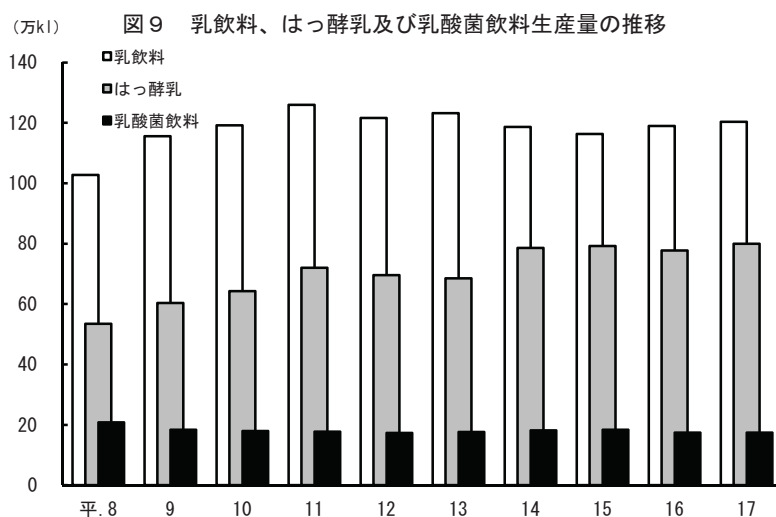


表4 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量

年次	実数 (kℓ)			対前年比 (%)		
	乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料	乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料
平. 16	1 189 388	777 548	174 060	102.2	98.1	94.6
17	1 203 215	799 936	173 629	101.2	102.9	99.8

3 乳製品生産量

— バター、チーズ、脱脂粉乳は増加、クリームは減少 —

主な乳製品の生産量をみると、脱脂粉乳は18万6,766 t、バターは8万4,070 t、チーズは12万2,549 tでそれぞれ2.2%、5.0%、2.5%増加し、クリームは9万985 tで前年に比べ0.6%減少した。

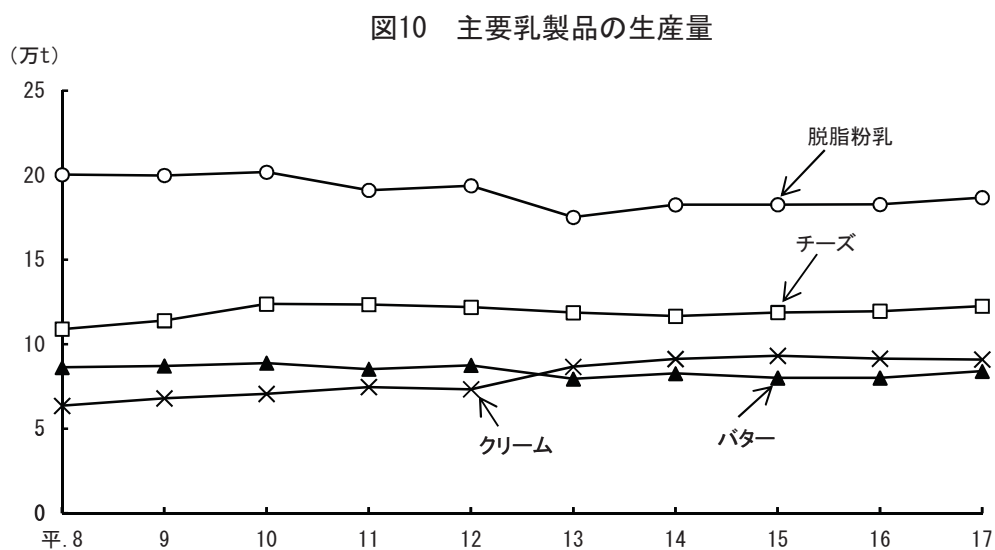


表5 乳製品生産量

単位：t

年次	加糖れん乳	無糖れん乳	全粉乳	調整粉乳	バター	クリーム	チーズ	脱脂加糖れん乳		脱脂粉乳	アイス クリーム
								うち、 ナチュラルチーズ			
平.16	34 599	1 649	14 942	34 758	80 097	91 496	119 572	12 323	5 658	182 657	112 622
17	34 366	1 256	14 366	32 037	84 070	90 985	122 549	13 471	6 737	186 766	116 320
対前年比(%)	99.3	76.2	96.1	92.2	105.0	99.4	102.5	109.3	119.1	102.2	103.3

k1

4 牛乳処理場及び乳製品工場数

(1) 処理場・工場数

— 処理場・工場数は737工場で前年に比べ4工場が減少 —

平成17年12月末日現在の牛乳処理場及び乳製品工場数は、前年に比べ4工場減少し737工場となった。

これを平成17年12月の月間生乳処理量規模別にみると、飲用牛乳等の需要の低迷による処理量減少等により1,240t以上の大規模階層が8工場減少した。一方、小規模な62t未満階層で7工場増加した。

なお、生乳を処理した処理場・工場のうち、62t未満階層が最も多く全体の56%（385工場）を占めている。

図11 牛乳処理場及び乳製品工場数の推移

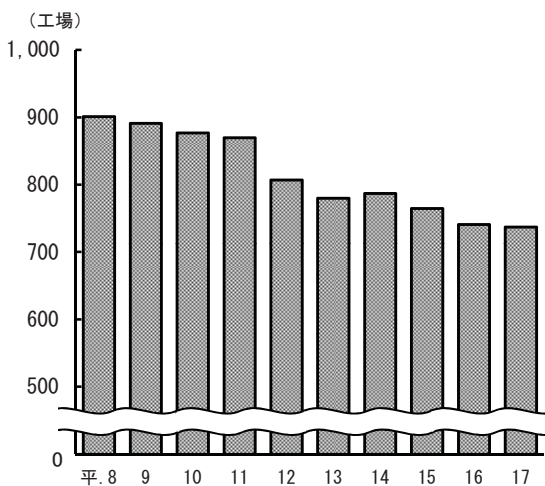
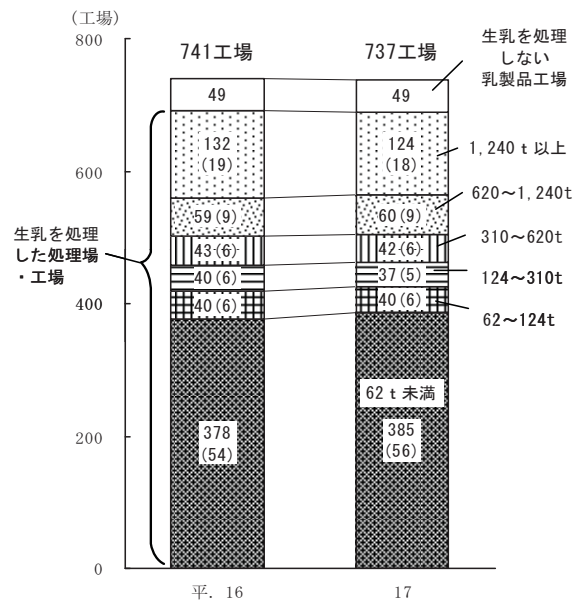


図12 12月の月間生乳処理量規模別の処理場・工場数（12月31日現在）



注：（）内は、生乳を処理した処理場・工場数を100とした生乳処理量規模別の処理場・工場数割合

表6 全国の牛乳処理場・乳製品工場数

単位：工場

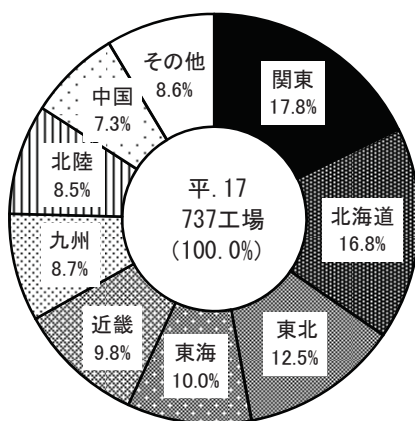
区分	計	経営組織別			12月の月間生乳処理量規模別						
		会社	農業協同組合	個人その他	62t未満	62~124	124~310	310~620	620~1,240	1,240t以上	生乳を処理しない乳製品工場
平. 16	741	482	60	199	378	40	40	43	59	132	49
17	737	486	59	192	385	40	37	42	60	124	49
対前年差	△ 4	4	△ 1	△ 7	7	0	△ 3	△ 1	1	△ 8	0

(2) 農業地域別処理場・工場数

— 関東の処理場・工場シェアは17.8% —

農業地域別の処理場・工場数についてみると、関東が131工場（全国に占める割合17.8%）で最も多く、次いで北海道が124工場（同16.8%）、東北が92工場（同12.5%）の順となっている。

図13 農業地域別処理場・工場シェア



(3) 製造品目別処理場・工場数

— チーズを製造した工場が9工場増加 —

製造品目別の処理場・工場数についてみると、牛乳を製造した工場は567工場、加工乳・成分調整牛乳を製造した工場は193工場前で前年に比べそれぞれ17工場、5工場減少し、チーズを製造した工場は135工場、れん乳を製造した工場は49工場、前年に比べそれぞれ9工場、2工場増加した。

表7 飲用牛乳等、乳製品を製造した工場数（平成17年1月～12月）

区分	飲用牛乳等		れん乳	粉乳	バター	クリーム	チーズ	乳脂肪分8%以上のアイスクリーム
	牛乳	加工乳・成分調整牛乳						
平. 16	584	198	47	60	73	83	126	147
17	567	193	49	58	74	79	135	146
対前年差	△ 17	△ 5	2	△ 2	1	△ 4	9	△ 1

注：「れん乳」は、加糖れん乳、無糖れん乳及び脱脂加糖れん乳を製造した延べ工場数であり、「粉乳」は、全粉乳、調製粉乳及び脱脂粉乳を製造した延べ工場数である。